

研修テーマ

No.138 「助産師のための超音波診断スキル」

開催日時 令和3年12月21日 13:30~16:30 / 会場 兵庫県看護協会3階 研修室2

■ 講師紹介

平久 進也 先生（兵庫県立こども病院）

■ 受講者数

会場受講3名・ライブ配信受講7名

■ 研修内容

エコー検査の特徴、婦人科で実施する超音波検査の種類とその特徴について、応用編として、超音波を行う環境、プローブの持ち方や当て方、見え方、よい画像を得るために、妊娠中期・後期のエコー、胎児の体重の測り方、羊水量の測り方を講義いただいたのち実際にエコーを使用して BPD・AC・FL の測定手順を体験した。



■ 受講者の声

- ❁ オンラインでしたが、とてもわかりやすく、実践も見やすかった
- ❁ きちんとした根拠がわかってとっても勉強になりました
- ❁ 実際にエコーも触ることができて良かった
- ❁ 今回の研修で持ち方、胎児の頭位を右側になど 今までのやり方と違う点があったのでそれでやってみたいと思う
- ❁ きちんとした根拠がわかってとっても勉強になりました

■ 担当者からコメント

参加者は9名と少なかったが、会場3名は実際にエコーに十分に触れることができました。

オンライン受講者へは、広域カメラや iPad を用いて全体と右手側左手側を映し出し、エコー画面は直接データを取り込む方法で配信しました。初めてのことで不安もあったが、受講者の満足度もよく、オンライン研修でできることの幅が広がりました。